United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
UNESCO Associated Schools

平成２８年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成２８年４月～平成２９年３月

１．学校概要

学校名　岡山市立高島小学校
種　別　□保育園・幼稚園　■小学校　□小中一貫教育
□中学校　□中高一貫教育　□高等学校
□教員養成　□技術/職業教育
□特別支援学校　□その他（　　）
所在地　〒７０３－８２０３
岡山県岡山市中区国府市場１３１
E-mail　takashims@city-okayama.ed.jp
Website http://www.city-okayama.ed.jp/~takashims/
児童生徒数　男子　489　名　女子　512　名　合計　1001　名
児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

２．実施活動（複数選択可）

□　地球規模の問題に対する国連システムの理解
□　国際理解
□　世界遺産
□　平和・人権
■　環境
□　気候変動
■　生物多様性
□　エネルギー
□　防災
□　食育
■　伝統文化
□　そのほか（　　）

３．活動内容

（１）１年間の主な活動内容について記載願います。

環境プロジェクト（１年・３年・５年）

①第１学年「季節と遊ぼう」（5～2 月）

７月，育ててきたアサガオの花を摘み，色水を作った。また，アサガオの花や葉で押し花（葉）を作り，他の花（葉）でもできるのかなという疑問をもち，校庭の花で調べながら押し花や色水づくりを楽しんだ。

１１月，「アユモドキの里」と呼ばれている公園に行き，木の実や落ち葉を集めたり集めたものを使っておもちゃや冠を作ったりした。学校から歩いて１５分ほどのところにある山裾に広がる公園で，色の変わった葉やドングリをたくさん見つけて楽しんだだけでなく，道中の田んぼの様子や山の色の変化を見るなどして，季節の変化にも目を向けることができた。

第１学年「生き物となかよし」（9～11 月）

６月と９月の２回，学校のそばの空き地に虫を探しに行った。９月には捕まえた虫をグループごとに世話をした。それぞれの虫にあったすみかを作り，名前を付けたり，えさを持ち寄ったりして虫の観察をした。

②第３学年「すてき発見！高島学区」　（4～7 月）

学区にある「ホタルの里」を取り上げ、ホタルの生息条件を調べる中で,水のきれいな学区であることに気付いていった。実際に「ホタルの里」の見学により自然の豊かさや水のきれいさを再認識した。また,「アユモドキ」も生息している「アユモドキの里」や全国名水百選で有名な「雄町の冷泉」のある「アクアガーデン」も探検した。

これらの活動を通して,地域の自然の豊かさや地域の人々が自然を大切にしてきたことを学習した。

③第５学年「高島の自然は大丈夫？」（４～１月）

国の天然記念物であるアユモドキの人工繁殖と世話を行いながら，生態や環境,それらを守るための地域の方々の取り組みや思いを調べた。その後，アユモドキや地域の環境を守るために自分のできることを考え，実践した。児童によってポスターや本を作って下学年に伝えたり，家で実践したことを報告したりしている。今年度も放流や宮島水族館への贈呈式もおこなった。

郷土愛プロジェクト（１年・２年・３年・４年・６年）

①第１学年「むかしからつたわるあそびをたのしもう」（10～12 月）

クラスを解体し，自分が挑戦したい昔あそびを決めて地域の名人さんから教えてもらった。その後，生活科の時間を利用し，教えてもらったことを友だちに伝えたり上手にできるよう練習したりした。普段使わない手先や指先を使っての遊びは，簡単にはできないが面白いと感じ，夢中になって練習していた。教室に，道具を常時置いておき，自由に練習する環境を設定し，学習発表会で上達ぶりを保護者に披露した。また，地域の方とお話する中であいさつや話し方などの礼儀を学んだり，お礼のお手紙を書く活動を通して感謝の気持ちを伝えたりしている。

②第２学年「どきどきわくわくまちたんけん」（9～11 月）

高島公民館へ行き，公民館長さんから，高島公民館が地域の方からどのように使われているのか，利用状況，利用の仕方などについて教えてもらった。また，講座を見学したり，体験させてもらったりした。地域のみんなが利用する施設のきまりについて学び，自分や他の友達が正しく，積極的に使えるように分かった

ことを絵や文でまとめて知らせた。

③第３学年「すてき発見！高島の名人さん」（11 月・２月）

高島学区にお住いの名人さん(特技を持った方)をお迎えし，それぞれの技を見せてもらうプレゼンテーションを行った。そのあと希望の名人さんの所に行って，実際に名人さんに技を教えてもって練習をした。３学期には，名人さんから伝授された技を保護者に見てもらう発表会をひらいた。

また，社会科との関連を図り，３名の地域のお年寄り講師をお迎えして，昔のくらしについて紙芝居やパワーポイント等を用いながら話をしていただいた。

これらの地域の人との交流を通して,子ども達の郷土愛が培われてきた。

④第４学年「ともに生きる」（９～１２月）

車いすやアイマスクの体験を通して，体が不自由な方の気持ちを知り，福祉について考え始めた。特別老人ホーム白樺を訪問するにあたって，点字器で名刺を作ったり，喜んでもらえるようにゲームを考えたりした。実際に訪問し，施設の方に喜んでもらうだけでなく自分たちも楽しみながら活動することが地域に暮らす体が不自由な人々と共に生きていくための第一歩となったのではないかと思う。その後，体験したことをもとに，ユニバーサルデザインや体の不自由な方の生活などについて本で調べ，カードにまとめて保護者へ発表した。

⑤第６学年「高島再発見！」（4～10 月）

高島学区に残る史跡を見学し，ゲストティーチャーから詳しく説明を受けた。その後，特に気になった史跡について調べ，新聞や発表会をして友達に伝えた。

第６学年「日本の伝統文化を体験」（11～12 月）

日本に古くから残る伝統文化について調べたり，ゲストティーチャーに教えてもらったりしながら体験したりした。その後，調べたことや体験で学んだことを周囲に伝えるために新聞にまとめ，校内に掲示した。

（２）活動時間について（下記から選択して下さい。）

■　通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
□　時間外活動の時間を使用
□　ユネスコクラブの活動として実施
□　その他（　　）